

インターナショナルマッチ アジア選手権壮行 試合結果・戦評報告書

競技日		試合番号		
種別		会場		
Aチーム名			Bチーム名	
日本			バーレーン	
得点合計	小計		小計	得点合計
20	8	前半	10	21
	12	後半	11	

戦評

日本のスローオフで試合開始、3分40秒で17番元木が速攻から先取点を決めた。10分過ぎバーレーンが1人退場中に21番土井がサイドから鮮やかなスピンシュートを決め会場が沸く。しかし、その直後に14番小賀野が退場となり、バーレーン8番ハッサンのポストシュートで5対5とした。20分過ぎ1点ビハインドで迎えた日本、7人攻撃から15番部井久がロングを決め6対6とする。日本のミスから2連続速攻となるがこれを16番甲斐が見事にシャットアウト。7人攻撃を行う日本だったがミスを重ね、2連続で無人のゴールに得点を取られてしまう。29分過ぎには7対10とされてしまうが、残り1秒で速攻から20番渡辺がゴールを決め8対10で前半を終えた。

後半開始18番成田が退場となり7mスローを取られたが、1番佐々木が見事にセーブする。バーレーン19番モハメド、23番アリがシュートを決め11対14としたところで後半10分が過ぎる。14分過ぎにも19番徳田がミドル、ロングシュートを決め15対15の同点とした。後半20分に7番宮崎、18番成田、19番徳田の3連取により19対17と日本が逆転した。その後もバーレーンがノーマークのチャンスを迎えるがキーパー佐々木が見事なセーブを見せた。後半27分過ぎバーレーン89番、7番のロングシュートが決まり残り30秒で同点とされた。残り5秒宮崎がシュートを打つがこれが決まらず、逆速攻となってしまった。5番酒井は体を張って止めるも、無念の退場。残り3秒。最後は99番フサインのステップが無情にもゴールに入り試合終了となってしまった。